

令和3年度 初任者研修に係る校外研修「授業参観」

佐伯市内の初任者を対象に

新大分スタンダードを踏まえた授業改善について研修を実施しました。

今年度は、小・中学校別に実施をしました。午前中に各所属校で事前学習（「新大分スタンダードについて」及び午後から参加する授業の学習指導案）をし、午後から会場校での授業参観及び研究協議という日程で行いました。

小学校 日時：令和3年6月24日（木） 会場：佐伯小学校

参観した授業は、山田 眞由美指導教諭による6年生国語でした。



参加者の感想

大きく2つのことを学んだ。1つ目はこどもの思考を深めるための手立て。何を身に付けさせたいかを明確にし、それに対する有効な手立てを考えることが大切であることを学んだ。2つ目は自己肯定感を高めるための働きかけ。教師の細かい声かけや行動が子どものやる気につながると考えさせられた。

子どもがやる気になったり、子どもの意識が授業の課題解決に向くような単元計画や授業をつくりたいと思った。

授業者の「まず自分でやってみる」が心に残った。どの単元、どの教科でも、まず自分でやってみることを大切にしていきたいと思った。

授業参観のあとは、授業研究会を行ないました。はじめに両授業者から、今日の授業についての話を聞き、その後、グループごとの授業分析、発表を行いました。小中ともに、事前学習の「新大分スタンダードについて」の学習から、「めあて」「見通し」「自己肯定感」「付けたい力」「評価」「ICTの活用」・・・など多くのキーワードをもとにした協議がなされていました。

中学校 日時：令和3年6月22日（火） 会場：佐伯城南中学校

参観した授業は、木本 茂久教諭（習熟度別指導推進教員）による3年生英語でした。



参加者の感想

教師の発問や生徒の興味を引く工夫など、とても勉強になる点が多かった。今の自分の課題となっている部分の解決策を多く発見することができた。「めあて」～「振り返り」までの一連の流れを整えることで、よりテンポのよい、理解しやすい授業をつくっていきたい。

単元を見通すことのできるプリントを用意していたり、ワークシートの工夫が素晴らしかったので真似したいと思う。授業の流し方や、どのような反応を生徒がするのかなど、見通しをもった展開ができる授業をしていきたい。

自分の専門教科と違う教科だったが、「新大分スタンダード」の考え方を中心にどのような授業が良いのかを考えることができた。